

2026年度
桐朋学園大学
大学院 音楽研究科 音楽専攻
修士課程（A日程・B日程）

学生募集要項



Toho Gakuen Graduate School of Music
TOKYO

桐朋学園大学大学院 音楽研究科 音楽専攻

修士課程（A 日程・B 日程） 学生募集要項

目 次

アドミッション・ポリシー	1
学生募集要項	1
1. 募集人員	1
2. 試験日・試験会場	1
3. 入学検定料	1
4. 出願資格	2
5. 出願書類	2
6. 出願書類記入上の諸注意	3
7. 出願手続	4
8. 入学試験実施日程、試験科目及び注意事項	5
9. 実技試験課題	7
10. 合格発表 及び 入学手続書類の送付	11
11. 入学の条件	11
12. 入学手続	11
13. 入学金・授業料等	12
カリキュラムについて	12
カリキュラム・ポリシー	12
修了要件等について	12
特待生および奨学金制度、学生会館について	13
特待生制度	13
奨学金制度	13
学生会館	13
学生募集要項全般に関する問い合わせ先	13
交通機関案内図	14

個人情報の取扱について

出願にあたって記入していただいた、氏名・住所・その他の個人情報は、個人情報保護法に則り、万全の体制で管理いたします。

アドミッション・ポリシー

大学院音楽研究科 修士課程では、以下のような意欲と能力を備えた者を、入学試験によって選抜する。

- * 高度に専門的かつ広汎な視野に立ち、音楽についての学識と技術をもった音楽の実践、創作、研究を行う意欲のある者
- * 社会における音楽の役割について強い自覚を有し、幅広い視野から知的な関心や柔軟な感性を育むことのできる者
- * 本学の建学の精神と教育目的に基づき、学修するのに相応しい豊かな人間性を有する者

学生募集要項

1. 募集人員

専 攻	コース	募集人員	
		A 日程	B 日程
音 楽	ピアノ	45名	若干名
	弦楽器（ヴァイオリン／ヴィオラ／チェロ／コントラバス）		
	声楽		
	作曲		
	音楽学		
	室内楽（＊A日程のみ）		—
	ソルフェージュ教育（＊A日程のみ）		

※標準修業年限は2年（4年まで在籍可）。

※ピアノコースは「ソロ」「歌曲伴奏」「コレペティツィオン」のいずれかを選択

※声楽コースは「オペラ」「歌曲」のどちらを中心に学ぶかを選択

※作曲コースは「創作」「MSD」のいずれかを選択

※室内楽コースは以下の楽器および編成から選択

楽器：ピアノ・ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ

編成：ピアノと弦楽器の二重奏・弦楽三重奏・弦楽四重奏・ピアノ三重奏・ピアノ四重奏・
ピアノデュオ・ピアノ伴奏

2. 試験日・試験会場

A 日程	2025 年11月1日（土） 11月2日（日）	調布キャンパス	東京都調布市調布ヶ丘 1-10-1
B 日程	2026 年3月21日（土）	仙川キャンパス	東京都調布市若葉町 1-41-1

3. 入学検定料

30,000 円

4. 出願資格

出願できる者は、次の各項の一つに該当する者とする。

- 1) 学校教育法 第83条に規定する大学を卒業した者、又は2026年3月末日までに大学を卒業見込みの者。
- 2) 学校教育法 第104条 第7項の規定により、学士の学位を授与された者、又は2026年3月末日までに学士の学位を授与される見込みの者。
- 3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、又は2026年3月末日までに修了見込みの者。
- 4) 文部科学大臣の指定した者。
- 5) 2026年3月末日で大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本学が所定の単位を優れた成績をもって修得したと認めた者。
- 6) 本学において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、本学入学前(2026年4月1日)までに22歳に達する者。

◎注 出願資格 5)、6) によって出願する場合は、事前に入学資格認定審査を行うので、以下の指定の日時までに、本学まで問い合わせること。(P.13参照)

A日程: 2025年9月12日(金)午後4時

B日程: 2026年1月16日(金)午後4時

5. 出願書類

出願書類一式:

- 1) 志願票
- 2) 受験曲目票(音楽学コースの志願者は提出不要)
- 3) 作曲作品(任意の2作品の楽譜) ※作曲コースのみ提出
- 4) 履歴書
- 5) 研究計画書
- 6) 受験証
- 7) 出身大学等発行の成績証明書(本学学部を卒業した者・卒業見込の者は提出不要)
- 8) 出身大学等発行の卒業または修了(卒業見込または修了見込)証明書(本学学部を卒業した者・卒業見込の者および本学大学院を修了した者・修了見込の者は提出不要)
- 9) 振込証憑書類
ATMのご利用明細書のコピー、ネットバンキングでの振込後の画面を印刷したもの等入学検定料を振り込みしたことが分かる書類
- 10) 受験証返送用封筒…長3サイズ。410円分(110円+速達料金300円)の切手貼付のこと。志願者本人が受け取る住所・宛名を記入する。

※1)、2)、4)、5)、6)のフォーマットは、以下の本学WEBサイトからダウンロードし、A4版で提出すること。

入試要項の閲覧: <https://www.tohomusic.ac.jp/college/admissions/m-nyushiyoko/>

※改姓等により各種証明書の氏名が出願時の氏名と異なる場合、戸籍抄本を提出すること。

※出願書類に虚偽の記載があった場合、出願を無効とする。

※身体の障がい等により、受験上の特別な措置が必要な場合は、出願時に申し出ること。

不慮の事故等により、緊急的に受験上の特別な措置及び修学上の特別な配慮が必要になった場合は、判明次第本学まで申し出ること。

6. 出願書類記入上の諸注意

提出する書類への記入は楷書とすること。

記載にあたっては、書式に記されている注意事項等を順守すること。

志願票	
楽器略語・コード	志願票記載の「楽器略語・コード」表に従って記入する。
氏名	戸籍名を楷書で記入する。姓と名に分け、フリガナをふる。外国籍の場合はアルファベット名を併記する。
生年月日	西暦で年月日を記入する。2026年4月1日現在の年齢をあわせて記入する。
性別	男、女 いずれかの記入。記入は任意。
本人連絡先等	入学手続書類等の送付先にもなるので、郵便番号、住所、電話番号等を正確に記入する。 自宅TEL・携帯TELの環境がない場合は「なし」と記入する。 メールアドレスは「@tohomusic.ac.jp」からのEメールを受信できるアドレスを記入する。
保証人	必ず記入のこと。
写真	タテ4cm×ヨコ3cmの大きさに3ヶ月以内に撮影した無帽で背景のないものを、写真裏面に氏名を書いてから貼ること。「受験証」にも同じ写真を貼ること。
出願資格(出身大学)	出身大学の学校区分、名称、専攻、卒業(卒業見込)年月について記入する。 出願資格4)、5)、6)により出願する者は記入不要。
受験希望外国語	英語・独語・仏語・伊語の中から1か国語を選択し、○で囲む。 ただし、音楽学コース志願者は、伊語を選択出来ない。 試験当日にこれを変更することはできない。
実技担当希望教員	本学において決定するが、希望がある場合は希望教師名を記入する。 ただし、希望通りにならない場合がある。
室内楽編成	室内楽コース受験者のみ記入。
楽器の使用希望 (コントラバスのみ)	入試で本学の楽器を使用する場合は、○を記入すること。
障がいおよび配慮希望 の有無・内容	障がいがある場合は診断名および配慮希望の有無、内容を記入すること。 ※任意、別紙可、可否には一切関わりません。

受験曲目票									
氏名・楽器略語・コード	志願票と同様に記入する。								
コース選択	実技試験課題を参照。ピアノ・声楽・作曲・室内楽は研究内容により、異なる試験課題を選択する。該当する番号または区分のいずれかを○で囲む。								
室内楽コース編成等	室内楽コース受験者は編成と担当楽器を記入する。								
曲目の記入方法	課題記号・番号を()内に記入し、演奏曲目を具体的・詳細に記入する。 出願後の受験曲目等の変更は認めない。 (記入例)ピアノコースで＜歌曲伴奏＞を選択する場合の記入例 <table border="1"> <tr> <td>コース選択</td><td>ピアノ：(1)・(2)・(3)</td></tr> <tr> <td>課題記号・番号</td><td> (a) (II) 中田 喜直： サルビア (I) F.Schubert: Der Musensohn D764 (Op.92-1) (I) F.Schubert: Auf dem Wasser zu singen D774 (Op.72) </td></tr> <tr> <td>課題記号・番号</td><td> (a) (I) R.Schumann: Der Nussbaum Op.25-3 (II) R.Strauss: Cécilie Op.27-2 </td></tr> <tr> <td>課題記号・番号</td><td></td></tr> </table> ※＜歌曲伴奏＞の課題(a)に関して、受験曲目票には演奏順に記入すること。	コース選択	ピアノ：(1)・ (2) ・(3)	課題記号・番号	(a) (II) 中田 喜直： サルビア (I) F.Schubert: Der Musensohn D764 (Op.92-1) (I) F.Schubert: Auf dem Wasser zu singen D774 (Op.72)	課題記号・番号	(a) (I) R.Schumann: Der Nussbaum Op.25-3 (II) R.Strauss: Cécilie Op.27-2	課題記号・番号	
コース選択	ピアノ：(1)・ (2) ・(3)								
課題記号・番号	(a) (II) 中田 喜直： サルビア (I) F.Schubert: Der Musensohn D764 (Op.92-1) (I) F.Schubert: Auf dem Wasser zu singen D774 (Op.72)								
課題記号・番号	(a) (I) R.Schumann: Der Nussbaum Op.25-3 (II) R.Strauss: Cécilie Op.27-2								
課題記号・番号									
伴奏者・共演者氏名	受験曲に伴奏者・共演者が必要な場合は、伴奏者・共演者の氏名を記入する。								

研究計画書	
氏名・楽器略語・コード	志願票と同様に記入する。
研究テーマ 等	入学後の研究テーマ等を具体的に記入する。

履歴書	
氏名・楽器略語・コード	志願票と同様に記入する。
学歴	高等学校から最終出身学校まで記入する。
職歴	職歴がある場合は記入する。ない場合は空欄でよい。
音楽歴	これまでに師事した指導者やコンクール入賞歴等を簡潔に記入する。欄が不足する場合は裏面を使用しても良い。

受験証	
楽器略語	「楽器略語・コード」表に従って記入する。
氏名	戸籍名を楷書で記入する。フリガナをふる。外国籍の場合はアルファベット名を併記する。
写真	タテ4cm×ヨコ3cmの大きさに3ヶ月以内に撮影した無帽で背景のないものを、写真裏面に氏名を書いてから貼ること。「志願票」にも同じ写真を貼ること。

7. 出願手続

◆出願書類一式の提出:

1) 出願期間 ※期間内必着

A日程: 2025年10月1日(水) ～ 10月10日(金)

B日程: 2026年2月13日(金) ～ 3月13日(金)

※原則郵送での提出とする。ただし郵送での提出が難しい場合は持参提出も認めるが、事前に入試係(03-3307-4122)へ電話連絡し許可を得ること。持参提出の場合も、提出先は以下と同様。
午前9時～午後4時の間に持参のこと。

2) 提出先

[宛先] 〒182-8510 東京都調布市若葉町1-41-1 桐朋学園大学 事務局入試係

前記「5. 出願書類」1)～10)をレターパックライトに封入し、「大学院 修士課程 出願書類在中」と記載の上、提出すること。出願書類がレターパックライトに入らないサイズの場合は、簡易書留郵便での郵送も可とする。

◆入学検定料の納入:

出願書類の提出に先立って出願者は検定料(30,000円)を下記の本学指定の銀行口座へ振込むこと。

◎注 受験を取消した場合、入学検定料は返還しない。

[振込先]

- ・みずほ銀行調布支店 当座 9778
- ・三菱 UFJ 銀行仙川支店 当座 49612
- ・三井住友銀行国領支店 当座 1015159

[振込先口座名義]

学校法人桐朋学園音楽科【ガク】トウホウガクエンオンガクカ】

◎注 銀行振込みの際は、振込人名義を必ず「受験生名」とし、名前の前に A 日程は「1143」、B 日程は「1145」と加えること (例: 1143 トウホウタロウ)

8. 入学試験実施日程、試験科目及び注意事項

1) 選抜方法

次の試験科目の試験結果、および出身大学の成績を総合的に判断して選抜する。

2) 試験実施日程及び試験科目

※ 実技試験・口述試験の集合時間は、本学から事前に通知する。

ただし、実施日の3日前までに連絡のない場合は、本学まで問い合わせること。

※ その他の詳細は、出願者に交付する「受験心得」にて確認すること。

※ 志願者、伴奏者、共演者以外の入構は禁止する。

※ 受験を取りやめる場合は、本学まで必ず連絡すること。

◇ピアノ、弦楽器、声乐、室内楽コース

A日程	2025年11月1日(土)	実技試験、口述試験
	2025年11月2日(日)	外国語試験(90分間) 9:30～11:00 音楽史試験(90分間) 11:45～13:15
B日程	2026年3月21日(土)	実技試験、口述試験、音楽史試験、外国語試験

試験科目	概要等
1. 実 技 試 験	試験課題は「9. 実技試験課題」(P.7以降を参照) <u>伴奏者・共演者が必要な場合は、各自同伴すること。</u>
2. 口 述 試 験	出願書類「研究計画書」等に基づく口頭試問を行う。
3. 音楽史試験	西洋音楽史
4. 外国語試験	英語・独語・仏語・伊語から1カ国語を選択。語学辞書の持ち込み可。ただし、一般辞典、事典ならびに電子機器類(電子辞書、携帯電話等)の持ち込みは不可。

◇作曲コース

A日程	2025年11月1日(土)	口述試験
	2025年11月2日(日)	外国語試験(90分間) 9:30～11:00 音楽史試験(90分間) 11:45～13:15
B日程	2026年3月21日(土)	口述試験、音楽史試験、外国語試験

試験科目	概要等
1. 口 述 試 験	提出された作曲作品及び出願書類「研究計画書」に基づく口頭試問を行う。
2. 音楽史試験	西洋音楽史
3. 外国語試験	英語・独語・仏語・伊語から1カ国語を選択。語学辞書の持ち込み可。ただし、一般辞典、事典ならびに電子機器類(電子辞書、携帯電話等)の持ち込みは不可。

◇音楽学コース

A日程	2025年11月1日(土)	小論文試験(90分間) 10:00～11:30 口述試験 午後予定
	2025年11月2日(日)	外国語試験(90分間) 9:30～11:00 音楽史試験(90分間) 11:45～13:15
B日程	2026年3月21日(土)	小論文試験、口述試験、音楽史試験、外国語試験

試験科目	概要等
1. 小論文	専門に関わる小論文
2. 口述試験	小論文及び出願書類「研究計画書」等に基づく口頭試問を行う。
3. 音楽史試験	西洋音楽史
4. 外国語試験	英語・独語・仏語から1カ国語を選択。語学辞書の持ち込み可。ただし、一般辞典、事典ならびに電子機器類(電子辞書、携帯電話等)の持ち込みは不可。

※ 志願票は、各コース共通のため「伊語」の記載があるが、音楽学コース志願者は選択出来ない。

◇ソルフェージュ教育コース

A日程	2025年11月1日(土)	実技等試験(聴音試験、和声試験、ピアノ実技試験) 口述試験(ピアノ初見、新曲視唱を同時に行う)
	2025年11月2日(日)	外国語試験(90分間) 9:30～11:00 音楽史試験(90分間) 11:45～13:15

試験科目	概要等
1. 小論文	「ソルフェージュ教育についての考察」1,600字以内（出願時に提出する）
2. 実技等試験	試験課題は「3. 実技試験課題」を参照
3. 口述試験	出願時に提出された「小論文」及び「研究計画書」等に基づく口頭試問を行う。
4. 音楽史試験	西洋音楽史
5. 外国語試験	英語・独語・仏語・伊語から1カ国語を選択。語学辞書の持ち込み可。ただし、一般辞典、事典ならびに電子機器類(電子辞書、携帯電話等)の持ち込みは不可。

9. 実技試験課題

◇ピアノコース

次の(1)、(2)、(3)のいずれかを選択し、その課題を演奏すること。

ピアノ独奏曲を主に研究する者は(1)を、歌曲伴奏を主に研究する者は(2)を、コレペティションを主に研究する者は(3)を選択すること。

(1) ＜ソロ分野＞

次の(a)、(b)、(c)を演奏すること。全体で 30 分程度とする。

- (a) バロックから古典派の作品
- (b) ロマン派以降の作品
- (c) F.Chopin, F.Liszt, C.Deubussy, S.Rachmaninoff, A.Scriabin, B.Bartók, I.Stravinsky, K.Szymanowski, S.Prokofieff, G.Ligeti の練習曲より1曲

- * 暗譜で演奏すること。
- * ピアノ独奏用作品に限る。
- * 出版されているものに限る。
- * 内部奏法等を含んだ作品は除く。
- * (a)、(b)とも、7分以上とする。複数の曲でも可。
- * ソナタの楽章の抜粋や、組曲からの抜粋は可。
- * 変奏曲の抜粋は不可。
- * 繰り返しは自由。
- * 時間の都合により、一部省略させることがある。

(2) ＜歌曲伴奏分野＞

次の(a)、(b)を演奏すること。

(a) 下記の歌曲(Ⅰ)、(Ⅱ)から選択して 12 分程度のプログラムを共演者(各自同伴)と演奏すること。

(Ⅰ)、(Ⅱ)それぞれから必ず1曲以上含むこと。

(Ⅰ)

F.Schubert: Frühlingsglaube 春の信仰 D686(op.20-2)
 Der Musensohn ミューズの子 D764(op.92-1)
 Auf dem Wasser zu singen 水の上で歌う D774(op.72)

R.Schumann: Der Nussbaum くるみの木 op.25-3
 Mondnacht 月夜 op.39-5
 Liebeslied 愛の歌 op.51-5

J.Brahms: Meine Liebe ist grün 私の恋は緑にもえ op.63-5
 Wir wandelten 私たちはそぞろ歩いた op.96-2
 Botschaft ことづて op.47-1

R.Strauss: Ständchen セレナード op.17-2
 Heimliche Aufforderung ひそやかな誘い op.27-3
 Schlagende Herzen 高鳴る胸 op.29-2

C.Deubussy: Mandoline マンドリン
 Green 水彩画 1:グリーン

(Ⅱ)

- F.Schubert: Rastlose Liebe 憩いなき恋 D138 (op.5-1)
 R.Schumann: Aufträge ことづて op.77-5
 J.Brahms: Bei dir sind meine Gedanken 私の想いはあなたのもとへ op.95-2
 R.Strauss: Cäcilie ツェツィーリエ op.27-2
 中田 喜直: サルビア
 團 伊玖磨: 紫陽花

- (b) F.Chopin: Etudes op.10、op.25 より任意の1曲(ただし op.10-6 と op.25-7 は除く)

※(a)は演奏順で受験曲目票に記入すること。
 ※(b)は暗譜で演奏すること。
 ※時間の都合により、一部省略させることがある。

(3) <コレペティション分野>

次の(a)、(b)、(c)を演奏すること

- (a) W.A.Mozart: 任意の Piano Sonata より 第1楽章(繰り返しは省略すること)
 (b) G.Puccini: La Bohème より 第2幕 冒頭から練習番号 8 まで(Ricordi 版)
 (c) G.Puccini: Manon Lescaut より 第2幕 練習番号 25 から練習番号 38 の前まで(Ricordi 版)

※(a)は暗譜で演奏すること。
 ※(b)、(c)はオーケストラパート(ヴォーカルスコアのピアノパートで構わない)を演奏すること。
 ※時間の都合により、一部省略させることがある。
 ※譜めくりの同伴は認めないので、1人で演奏可能のように準備すること。

◇弦楽器コース

<ヴァイオリン>

以下の(1)、(2)を暗譜で演奏する。(2)の伴奏者は、各自同伴すること。

- (1) J.S.Bach: 無伴奏ヴァイオリン・ソナタ(BWV 1001、1003、1005)より任意の1曲
 第1楽章と第2楽章
 (2) 任意のヴァイオリン協奏曲1曲より
 第1楽章(カデンツァがあるものはそれを含む)または終楽章

<ヴィオラ>

以下の(1)、(2)を暗譜で演奏する。(2)の伴奏者は、各自同伴すること。

- (1) J.S. Bach: 無伴奏パルティータ(BWV 1002、1004、1006)、無伴奏ソナタ(BWV 1001、1003、1005)、
 チェロ組曲(BWV 1007-1012)より任意の1曲。いずれも緩急2つの楽章。
 (2) 以下の協奏曲より任意の1曲

- F.A.Hoffmeister: D-dur 第1楽章(カデンツァ付き)
 C.Stamitz: D-dur op.1 第1楽章(カデンツァ付き)
 B.Bartók: 第1楽章または終楽章
 P.Hindemith: 白鳥を焼く男(Der Schwanendreher) 第1楽章または終楽章
 W.Walton: 第1楽章または終楽章

＜チェロ＞

以下の(1)、(2)、(3)を暗譜で演奏する。(2)(3)の伴奏者は、各自同伴すること。

尚、演奏の途中でカットする場合がある。

- (1) J.S.Bach: 無伴奏チェロ組曲(BWV 1007-1012)より任意の1曲
いずれもプレリュード、サラバンド、ジークとする。
- (2) J.Haydn: チェロ協奏曲 第2番 D-dur より 第1楽章(カデンツァ付き)
- (3) 自由曲(ただし演奏時間は10分以内とする)

＜コントラバス＞

以下の協奏曲から任意の1曲(全楽章)を暗譜で演奏する。伴奏者は、各自同伴すること。

- K.D.Dittersdorf: No.2 E-dur Kr.172(H.Gruber Cadenzas)
J.B.Vanhal: D-dur(H.Gruber Cadenzas)
D.Dragonetti: A-dur
G.Bottesini: No.2 h-moll
S.Koussevitzky: fis-moll

◇声乐コース

暗譜で演奏する。伴奏者は、各自同伴すること。

以下の(1)と(2)を提出し、(1)の2曲、(2)の中から当日指定された2曲を演奏する。

- (1) アリア(オラトリオ、コンサート・アリアを含む) 1曲と歌曲1曲、計2曲。
- (2) アリア(オラトリオ、コンサート・アリアを含む) 2曲と歌曲2曲、計4曲。
(提出曲(2)について、オペラ研究分野志望者はアリアのみ4曲、歌曲研究分野志望者は歌曲のみ4曲でもよい)

- * 提出曲6曲は、2ヶ国語以上の作品とする。
- * アリアは原調・原語。ただし、慣習的に認められている移調、言語に関してはこの限りではない。
- * 歌曲は原語で、移調可。
- * 曲名は原語で記入すること。
- * Vocalise は除外する。
- * 前奏・間奏・後奏は省略可。
- * 各曲の演奏時間を「受験曲目票」に記入すること。

◇作曲コース

次の(1)、(2)いずれかを選択し、その課題を提出すること。

(1) ＜創作＞

任意の作曲作品2点の楽譜を提出する。

(2) ＜MSD＞

以下の①および②を、出願時に提出すること。

- ① 自作品2点の楽譜(音源あるいは映像を添付してもよい)
 - ※ 楽譜は、紙媒体(印刷物)で提出すること。
 - ※ 音源・映像を提出する場合は、CD-R、DVD-R、Blu-ray、USB メモリのいずれかで提出すること。
 - 【ファイル形式】(以下のいずれか)
 - 音源: WAV、AIFF、mp3
 - 映像: mp4、mov
 - ※ 提出物は返却しない

②作品解説

各作品について、A4 用紙2枚以内で作成すること。

以下の項目を含めること。

- ・作曲者氏名（共同制作の場合は、他分野の制作者氏名・役割を記載）
- ・作品タイトル
- ・制作意図
- ・使用した手法、機材、ソフトウェアなど
- ・制作の背景や過程、工夫した点など

◇室内楽コース（※A日程のみ）

以下の課題曲より任意の1曲を演奏する。対象楽器および編成、受験方法は以下の通りとする。

- 対象楽器 ピアノ・ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ
- 対象編成 ピアノと弦楽器の二重奏・弦楽三重奏(VI/Va/Vc)・弦楽四重奏(2VI/Va/Vc)・ピアノ三重奏(Pf/VI/Vc)・ピアノ四重奏(Pf/VI/Va/Vc)・ピアノデュオ・ピアノ伴奏
- 受験方法
 - ・二重奏:グループ受験および個人受験(個人受験の場合、受験時の共演者は受験生が手配すること)
 - ・二重奏以外:グループ受験のみ(個人受験は受け付けない)

【諸注意】

グループ受験の場合、グループごとに可否を判定する。

●課題曲

※試験当日、演奏箇所を指定する。

VI と Pf の二重奏	Beethoven: Violin Sonata より任意の一曲 全楽章
Va と Pf の二重奏	Brahms: Viola Sonata より任意の一曲 全楽章
Vc と Pf の二重奏	Beethoven: Cello Sonata より任意の一曲 全楽章
弦楽三重奏	Beethoven: String Trio より任意の一曲 全楽章
弦楽四重奏	Beethoven: String Quartet より任意の一曲 全楽章
ピアノ三重奏	Beethoven: Piano Trio より任意の一曲 全楽章
ピアノ四重奏	Mozart: Piano Quartet g-moll K.478 または Es-dur K.493 のいずれか一曲 全楽章
ピアノデュオ	Mozart: Sonata for 2 Pianos D-dur K.448/375a 全楽章
ピアノ伴奏	Beethoven: Violin Sonata より任意の一曲 全楽章

◇ソルフェージュ教育コース（※A日程のみ）

以下の(1)、(2)、(3)、(4)、(5)を課す。(3)、(4)は口述試験と同時に行う。

- (1) 和声聴音と旋律聴音試験
- (2) 和声課題:バス課題並びにソプラノ課題
- (3) ピアノ初見
- (4) 新曲視唱: ピアノ弾き歌い課題
- (5) ピアノ実技試験(暗譜で演奏すること):

課題曲

J.S.Bach : Das Wohltemperierte Klavier 第 I 巻または第 II 巻から任意の 1 曲(前奏曲とフーガ)

10. 合格発表 及び 入学手続書類の送付

- 1) 発表日
A日程：2025年11月12日(水) 午前11時予定
B日程：2026年3月21日(土) 午後6時予定
- 2) 発表方法
合格者の「受付番号」を本学ホームページで発表する。
- 3) 書類の交付
合格者には、入学手続書類(合格者心得)を送付する。

11. 入学の条件

- 1) 指定の期日までに所定の入学手続きを完了していること。
- 2) 出願時に「2026年3月卒業見込み」であった者は、卒業を認定されていること。
なお、本学以外からの受験者は、2026年3月末日までに、卒業証書のコピーを本学に郵送すること。
修了見込みの者も同様とする。
- 3) 願書提出時に学位授与機構に学士の学位を申請していた者は、学位を授与されていること。
なお、この場合は、2026年3月末日までに、学位記のコピーを本学に郵送すること。

12. 入学手続

- 1) 入学手続の方法:原則郵送での提出とする。ただし郵送での提出が難しい場合は持参提出も認めるが、事前に入試係(03-3307-4122)へ電話連絡し許可を得ること。
- 2) 入学手続の期限: A日程 2025年11月13日(木)～11月24日(月)必着
B日程 2026年3月21日(土)～3月25日(水)必着
- 3) 提出書類等(予定):
 1. 「入学手続納付金払込用紙」の副票
 2. 誓約書(本学が指定する用紙)
 3. 身元保証書(本学が指定する用紙)
 4. 学籍台帳(本学が指定する用紙一 要・タテ7cm×ヨコ5cmの写真貼付)
 5. 写真(タテ4cm×ヨコ3cm)
 6. 住民票または住民票記載事項証明書1通(本籍の記載がある本人のみのもの、マイナンバーは不要)
 7. 保険調査票(予防接種歴確認書)
 8. 著作隣接権等の取り扱いに関する同意書 他

13. 入学金・授業料等

内容	金額	備考
1. 入学金	250,000円 * 50,000円	入学時のみ * 印は桐朋学園大学を卒業した者及び卒業見込の者の金額
2. 授業料	1,200,000円	年額、半期ごとに半額納入する
3. 施設設備費	200,000円	年額、半期ごとに半額納入する
4. 教育充実費	100,000円	年額、半期ごとに半額納入する

(注)入学手続き時には、1. の全額及び 2. 3. 4. の半額を納入する。

【合計 1,000,000 円(本学卒業生は 800,000 円)】

※経済情勢の変動等に応じて次年度以降の校納金については改定があり得る。

カリキュラムについて

カリキュラム・ポリシー

修士課程は音楽専攻のもとに、ピアノ、弦楽器、声楽、作曲、音楽学、室内楽、ソルフェージュ教育の7コースで構成され、専攻としてのカリキュラム・ポリシーは以下の通りである。

大学院修士課程は、音楽の演奏、創作、研究に不可欠な高度な能力を修得し、自立した活動を行うにあたって必要な能力を養うことを目的とする。そのために、各コースの特質に適合した教育課程を編成している。2年以上の在学期間に、コースごとに開設される実技・論文指導あるいは実習・演習等を履修し、また、学術的研究を支える関連科目を所定の範囲で履修しなければならない。

修了要件等について

◎ 修了要件及び履修方法等 <https://www.tohomusic.ac.jp/college/faculty/m-curriculum/>

・修士課程に2年間以上在籍し、教育課程表に定める専門科目の必修 10 単位、コースにより定められた科目合計4科目8単位を選択必修、その他の専門科目・関連科目の中から 12 単位以上、合計 30 単位以上修得し、修士論文(音楽学を除くコースでは、研究レポートをもって修士論文に代えることができる)の審査及び試験に合格するとともに、コースにより、修士論文に加えて修了演奏または修了作品の審査に合格すること。

◎ 教職課程

・高等学校教諭一種免許状(音楽)及び中学校教諭一種免許状(音楽)取得者で、教科に関する専門科目を 24 単位以上修得し、修了した者(修了見込者を含む)に限り、修了時に高等学校教諭専修免許状(音楽)及び中学校教諭専修免許状(音楽)取得の申請ができる。

指導教員等については、以下(本学 WEB サイト)各コースの紹介ページに掲載している。

<https://www.tohomusic.ac.jp/college/faculty/>

特待生および奨学金制度、学生会館について

特待生制度

入学試験または所定の学内試験で、専攻実技等の成績が極めて優秀であると認められた学生は、「特待生」として入学金・授業料・教育充実費などを一部または全額免除する。

奨学金制度

経済的な理由により就学が困難な者を対象に、奨学金制度を設けている。

◎ 桐朋学園音楽部門奨学金

向学心をもちつつも、経済的理由で就学が困難な学生を対象とする。

1年ごとに選考を行い、授業料の1割から10割を年1回(10月)給付する。原則として、日本学生支援機構奨学金(第一種)の算出基準に準拠しつつ、実状を考慮し決定する。

◎ 宗次徳二桐朋学園大学大学院特待奨学金

入学試験の成績が優秀でありながら、経済的理由のため就学が困難な本学の大学院生に給付することをもって、次世代の音楽界を担うことが期待される大学院生の教育を支援することを目的としている。

対象者:修士課程1名、博士後期課程1名

給付額:年間120万円(入学から修了[標準修了年限]までとする)

◎ 桐朋学園音楽部門留学支援奨学金「江崎スカラシップ」

次世代の音楽界を担うことが期待される桐朋学園大学大学院、桐朋学園大学、同大学ディプロマ・コース、桐朋学園大学院大学のピアノ・弦楽器を専攻する学生に留学支援することを目的としている。

支給人数:原則2名まで

給付額:1人500万円(ただし、1回限り)

◎ 桐朋学園音楽部門 佐々木成子賞 奨学金(声楽専攻・声楽コース・声楽研究領域対象)

音楽学部声楽専攻生のうち、年間を通じて優秀な成績を修めた者に対し奨学金が給付される。

学生会館

自宅通学が困難な女子学生のために、調布キャンパスより徒歩約5分(京王線調布駅より徒歩15分)の場所に学生会館を用意している。<問い合わせ:学生支援チーム(03-3307-4106)>

タイプ	防音ワンルーム型マンション
住戸面積	約21㎡(1住戸当り)
仕様	ミニキッチン・バス・トイレ・エアコン・インターネットコネクション等各室完備
住戸数	115戸
入居費	月額78,000円
その他	7:00～23:00まで練習可能 入居時に諸経費として、50,000円が必要。光熱水費は自己負担。 ※経済情勢の変動に応じて次年度以降の入居時の諸経費については改定があり得る

学生募集要項全般に関する問い合わせ先

桐朋学園大学 事務局 入試係

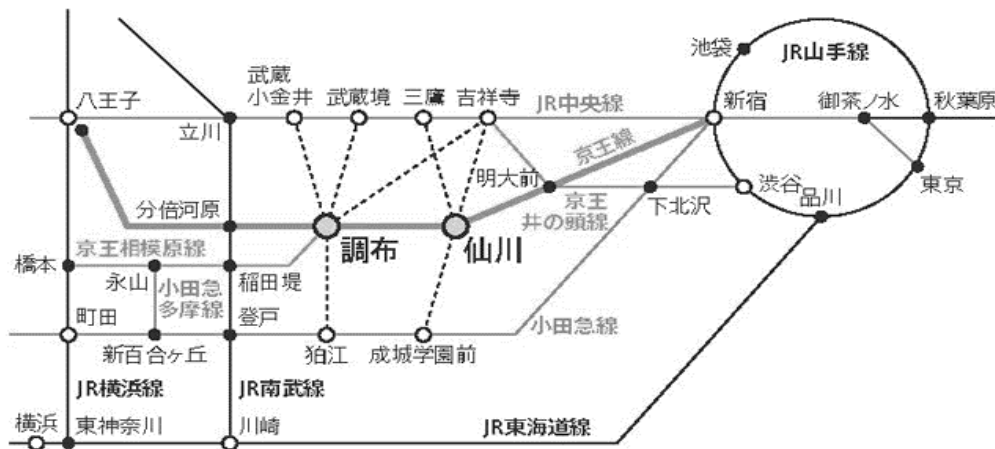
Tel:03-3307-4122 E-mail:exam@tohomusic.ac.jp

問い合わせ時間:月～金:午前9時～午後4時

(祝日や長期休暇期間中の、事務局閉室日は対応できません。)

交通機関案内図

<調布駅－新宿駅より特急で約16分、仙川駅－新宿駅より区間急行または快速で約20分>

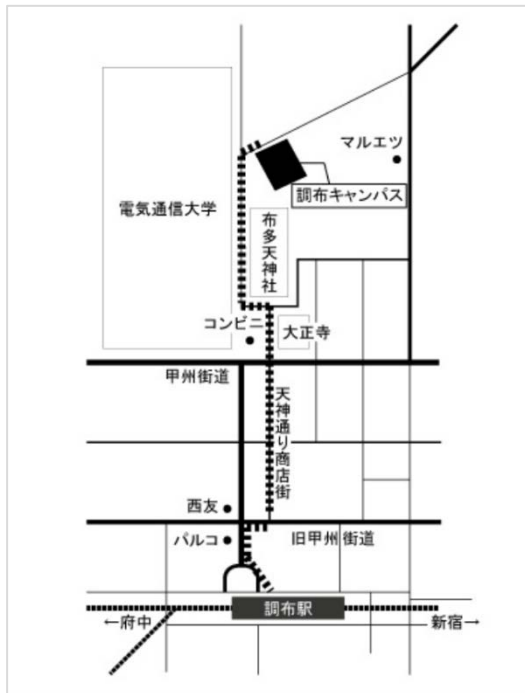


◆調布キャンパス

京王線 調布駅より徒歩10分

〒182-0021 東京都調布市調布ヶ丘1-10-1

TEL : 042-444-7055

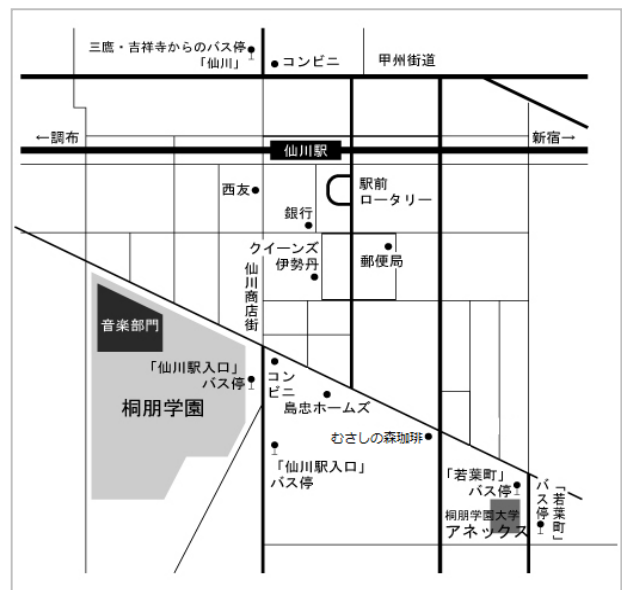


◆仙川キャンパス

京王線仙川駅より徒歩5分

〒182-8510 調布市若葉町 1-41-1

TEL : 03-3307-4122



- 小田急線「狛江」駅発（バスの所要時間約 20 分）
小田急バス 「調布駅南口」または「武蔵境駅南口」行き
「調布駅南口」または「調布駅北口」バス停下車
徒歩 10～12 分

- JR 中央線「吉祥寺」駅、「三鷹」駅、
「武蔵境」駅、「武蔵小金井」駅発
（バスの所要時間約 30～40 分）
小田急バス 「調布駅北口」行き（吉祥寺、三鷹、武蔵境）
京王バス 「調布駅北口」行き（武蔵小金井）
「調布駅北口」バス停下車 徒歩 10 分

- 小田急線「成城学園前」駅発（バスの所要時間約15分）
小田急バス 「狛江営業所」または「調布駅南口」行き
「仙川駅入口」バス停下車 徒歩1分

- JR中央線「吉祥寺」駅発（バスの所要時間約25分）
小田急バス 「仙川」行き「仙川」バス停下車 徒歩6分

- JR中央線「三鷹」駅発（バスの所要時間約30分）
小田急バス 「仙川」行き「仙川」バス停下車 徒歩 6 分

志願票

【楽器略語・コード】

楽器略語	コード	受付番号
		※

コース		楽器略語	コード	コース		楽器略語	コード		
ピアノ	ソロ	Pf	01	作 曲	創作	Co	81		
	歌曲伴奏	Pf2	02		MSD	Ca	99		
	コルベティウシオン	Pf3	03		音 楽 学	Mu	91		
弦 楽 器	ヴァイオリン	Vi	11	室 内 楽	ピアノ	Pf-c	04		
	ヴィオラ	Va	12		ヴァイオリン	Vi-c	15		
	チェロ	Vc	13		ヴィオラ	Va-c	16		
	コントラバス	Cb	14		チェロ	Vc-c	17		
声 楽	オペラ	Op	73	ソルフェージュ教育				Sol	95
	歌 曲	Li	74						

※ 受付番号は記入不要

氏 名	フリガナ(セイ)	(メイ)	生 年 月 日	(西暦)	年	月	日
	漢字等記入 (戸籍名を楷書で記入すること) (姓)	(名)		2026年4月1日現在の年齢			
				性別	(任意)		

※外国籍の場合はアルファベット名を併記のこと

本人 連絡 先等	住所 〒	
	自宅TEL	携帯TEL
	メールアドレス(必須)	
	保証人 (氏名)	(TEL) (本人との関係)

写真貼付欄

上半身無帽

カラーまたは白黒

写真裏面氏名記入

タテ 4cm × ヨコ 3cm

出願資格(出身大学)

※出願資格 4.5.6.により出願する者は記入不要

学校区分	1. 国立	2. 公立	3. 私立	4. 外国の学校
	5. その他(	)		
大学名	大学 学科			学部 専攻
卒業(見込)年	(西暦)	年	月	卒 業 ・ 卒業見込 (○をつける)

受験希望 外国語	選択する外国語に○をつける 1. 英語 2. 独語 3. 仏語 4. 伊語 (※音楽学コース志願者は伊語の選択は不可)					
実技担当 希望教員	第1希望:			第2希望:		
室内楽 コース 編 成	● 編成: 該当する編成に○をつける					
		Vi と Pf の二重奏 (グループ受験)		Vc と Pf の二重奏 (グループ受験)		ピアノ三重奏
		Vi と Pf の二重奏 (個人受験)		Vc と Pf の二重奏 (個人受験)		ピアノ四重奏
		Va と Pf の二重奏 (グループ受験)		弦楽三重奏		ピアノデュオ
		Va と Pf の二重奏 (個人受験)		弦楽四重奏		ピアノ伴奏
	● 共演者: 共演者の楽器と氏名を以下に記入する					
(*室内楽コース受験者は記入)						
(楽器名)		(共演者名)				
(楽器名)		(共演者名)				
(楽器名)		(共演者名)				
楽器の 使用希望 (コントラバス)						
	障がい					
配慮希望の有無・内容		有・無	(内容)			

記載した内容は入学試験以外の目的では使用しません。

2026 年度
桐朋学園大学大学院音楽研究科修士課程 受験曲目票

氏名	フリガナ（セイ）	（メイ）	楽器略語	コード	受付番号
	漢字等記入 （姓）	（名）			※

※受付番号は記入不要
※楽器略語・コードは志願票を参照

※外国籍の場合はアルファベット名を併記のこと

コース選択	ピアノ：（1）・（2）・（3）	声楽：オペラ・歌曲
室内楽コース 編成等	（編成）	（担当楽器）
課題記号・番号 （ ） 演奏時間（ ）分 <声楽コースのみ記入>		
課題記号・番号 （ ） 演奏時間（ ）分 <声楽コースのみ記入>		
課題記号・番号 （ ） 演奏時間（ ）分 <声楽コースのみ記入>		
課題記号・番号 （ ） 演奏時間（ ）分 <声楽コースのみ記入>		
課題記号・番号 （ ） 演奏時間（ ）分 <声楽コースのみ記入>		
課題記号・番号 （ ） 演奏時間（ ）分 <声楽コースのみ記入>		
伴奏者・共演者氏名		
作曲コース（2）<MSD> ①		
1	作品タイトル	楽譜（紙面）・CD-R・DVD-R・ Blu-ray・USBメモリ
2	作品タイトル	楽譜（紙面）・CD-R・DVD-R・ Blu-ray・USBメモリ

2026 年度
桐朋学園大学大学院音楽研究科修士課程 履歴書 ①

氏 名	フリガナ (セイ)	(メイ)	楽器略語	コード	受付番号
	漢字等記入 (姓)	(名)			※

※受付番号は記入不要
※楽器略語・コードは志願票を参照

※外国籍の場合はアルファベット名を併記のこと

学 歴 (高等学校から最終出身学校まで) * 西暦で記入

学校名 (学科・専攻)	入学・卒業 (見込) 年月
	年 月
	年 月
	年 月
	年 月
	年 月
	年 月
	年 月

職 歴 * 西暦で記入

勤務先	在職期間
	年 月 日 ~ 年 月 日
	年 月 日 ~ 年 月 日

(次頁に続く)

氏名		受付番号
		※

音楽歴(師事した指導者やコンクール入賞等について記入すること)

2026 年度
桐朋学園大学大学院音楽研究科修士課程 研究計画書 ①

氏 名	フリガナ (セイ)	(メイ)	楽器略語	コード	受付番号
	漢字等記入 (姓)	(名)			※

※受付番号は記入不要
※楽器略語・コードは志願票を参照

※外国籍の場合はアルファベット名を併記のこと
入学後の研究テーマ及び内容について、具体的に記入してください。

<研究テーマ>

<研究目的>

(次ページに続く)

氏名		受付番号
		※

< 研究の動機及びこれまでの準備状況 >

< 研究内容及び研究方法 >

2026 年度

桐朋学園大学

大学院音楽研究科修士課程

入学試験 受験証

受付番号

*

楽器略語

フリガナ

氏 名

写真貼付
(全面糊付け)

※キトリ

[受付番号の欄(*)について]

記入しないこと

[氏名について]

外国籍の場合はアルファベット名を
併記すること

[写真について]

1. 正面、上半身無帽
2. 背景なし
3. 最近 3 か月以内に撮影のもの
4. タテ 4cm×ヨコ 3cm
5. 写真裏面に氏名を記入し貼付する

出願書類送付先票（貼付用）

〒 1 8 2 － 8 5 1 0

東京都調布市若葉町 1 － 4 1 － 1

桐朋学園大学

事務局 入試係

（電話番号） 0 3 － 3 3 0 7 － 4 1 2 2

切り ✂

※ハサミで切り取ってからレターパックへ貼付してください

※レターパックの郵便番号記入欄は空欄ではなく、必ず『182-8510』とご記入ください。

※品名：Contents Descriptionの欄には

『大学院 修士課程 出願書類』とご記入ください。